

生成AIとエンジニアの仕事と私 ~実践知を添えて~

2025/06/13 【ORION × スマレジ共催】生成AI時代に考えるエンジニアのキャリア会議



いずりよー / is_ryo

#EngineeringManager@Sprocket

#TypeScriptが好き #JavaScriptは嫌い

#kansai.ts Organizer

#フロントエンドカンファレンス関西実行委員

X → @is_ryo

生成AI活用していますか？

生成AIってエンジニアのしごと
を奪うもの？

弊社の生成AI事情

- 主にClaude、Geminiを利用している
 - エンジニアだけでなく非エンジニアも一定数活用している
 - エンジニアはRooCode、ClaudeCodeとか、非エンジニアはClaudeのWebアプリとか
 - ClaudeProjectを活用して生成AIアプリみたいなものを作っている
- コーディング作業はすべてRooCodeに任せるべく試行錯誤中
- Devinにより技術的負債の解消を実験的に行っている
- 社内外向けに生成AIエージェントの開発をしている
 - 社内向けは割と実験場として好き勝手やっている

今日は私自身の経験談からお話します。

※すべて個人の意見です。

エンジニアとしての仕事が
どう変わったか？

エンジニアとしての仕事はどう変わったか？

1. コードを(ほぼ)書かなくなった
2. レビューの時間が減った
3. 設計も生成AIとやるようになった
4. 新しい知見を生成AI経由で得るようになった
5. 生成AIをどう活用すると効果的か考えることに時間を使うようになった

コードを(ほぼ)書かなくなった

- 何よりアウトプットを出す速度が早すぎるので、コードを書くという作業は人間がやる必要がなくなった
- 最初は一つの関数とかテストとか一部のコードを書いてもらう程度だったが、この半年でかなり賢くなったので、もうアプリケーション丸ごと任せられるくらいになっている
- エンジニアじゃなくてもPoCレベルのアプリケーション作れちゃう世界が来ている
 - 例) 弊社のPdMは非エンジニアだが、週に1,2個くらいプロトタイプ作ることが可能になっていた

レビューの時間が減った

- 一次レビューは生成AIに任せるようになってきた
- ある意味機械的に判断できるような指摘内容は生成AIがしてくれるので、その前提で人間がレビューできるようになった
 - BiomeでLintとFormatして生成AIでの一次レビューが通ってから、人間がレビューする
- コード規約や設計思想など、開発組織で定めているルールをコンテキストとして生成AIに渡して、どういう観点でレビューしてほしいかをプロンプトで書いて、チューニングしてを繰り返している
- これがプロンプト芸、否、プロンプトエンジニアリングか...となっている

設計も生成AIとやるようになった

- アプリケーションの設計も生成AIとやるようになった
- まず設計書に重要なことを書いて、生成AIに校閲してもらおう
- インターネットに転がっているプラクティスを参照して、様々なパターンを提案してくれる。しかも非現実的な速度で...
- 生成AIに設計書を作らせて、それを次のタスクに渡してアプリケーションを実装させることをよくやっている

新しい知見を生成AI経由で得るようになった

- 先程の話にもつながるが、ふとしたタイミングで自分の知らない知見を得る機会が増えた
 - 新しい言語やフレームワークなどの知見
 - クラウドサービスなどのアップデート情報
- 半年前に比べて生成AIが参照できる情報の鮮度・精度が上がってきている
 - Web検索するのが当たり前になってきた

生成AIをどう活用すると効果的か考えることに時間を 使うようになった

- 人間の生産性は生成AIによって爆発的に向上した
- が、生成AI自体の生産性ももっと上げられると掛け算的に全体的な生産性が向上できそう
- ということで生成AIの生産性みたいなことを考えるようになってきた
- プロンプトでどんな情報を投げるか、どこまでのコンテキストを持たせておくべきかみたいなことを考えながら試行錯誤している

これからどういう
エンジニアが求められるか

これからのエンジニアに何が求められるか

1. コーディング力よりも設計力
2. 高い表現能力、言語化能力
3. 生成AIを活用した業務・組織設計力
4. 生成AIを組織に広める活動

コーディング力よりも設計力

- コードを書く能力では勝てない...ので任せた方がいい
 - うまく対応できない言語、フレームワークはあるが、大半はうまく対応してくれる
- ただ生成AIは自立して何も無いところから生み出すことはできない
 - 何かしらのトリガーがないと動き出さない
 - 人間がどんなアウトプットを期待しているのかを伝えてあげないといけない
- 生成AIにどんなものを作って欲しいのかという情報を、曖昧さを可能な限り排除した上でプロンプトを投げられるようにならないといけない

高い表現能力、言語化能力

- 生成AIは人間から渡されたプロンプトから、期待されるアウトプットを生成してくれる
 - 要するに入力として渡すプロンプトの質が重要
- プロンプトの質を上げるためには極論「生成AIが毎回同じ理解をしてくれるような明確な情報、曖昧さを排除した情報」を書く必要がある
 - 期待するアウトプットについてうまく表現、言語化できないといけない
 - プロンプトの質で生成AIのアウトプットの質が大きく変わってくる

生成AIを活用した業務・組織設計力

- ただ生成AIを使うだけでなく、業務や組織に組み込むようなアクションが取れると、組織として強くなれる可能性がある
 - エンジニアの作業を代行する生成AIエージェントを作る
 - コーディング業務はもうDevinやClaudeCodeActionに任せて非同期で作業させる
- これはマネジメント領域に関わってくるかも知れないが、マネージャーでなくても生成AIの力で組織設計の一端を担うことができるという可能性がある
 - 生成AIを活用した組織としての生産性向上の施策を考えている

生成AIを組織に広める活動

- 生成AIをエンジニアだけが使っていても会社としては成長しない
- 組織全体が生成AIを使いこなせると全体的なアウトプット量が爆増する
- そのための育成や体制づくりを引っ張っていくような姿勢が必要になってくるだろう
- 弊社は生成AI合宿をしたり、そこでのアウトプットの発表会をしたりしている
 - 生成AIで何ができるのかをイメージできる非エンジニアが増えてきた
- 定量的に生産性を測るのは難しいが、感覚的に生産性が上がってきているように感じている

まとめ

- 生成AIはエンジニアの仕事をなくすものではなく、変えるもの
- 怖がって近寄らないのではなくて、寄り添っていこう
- 相手(生成AI)のことを知って、どんな言葉を届けるとより良い仕事をしてくれるのかを考えてあげよう
 - 人間関係と近いものがある
- これからエンジニアの仕事や価値というのはどんどん変わっていくだろうし、その波に乗れる気持ちを持っておくことが大事
 - 乗るしかない、このビックウェーブに...
- **今回は表面的な話に絞ったので、もっと深い話をしたい！なので懇親会で話しましょう！**

Thanks!!!